



ふわり
社協マスコットキャラクター

明日からできる地域活動情報紙 /

Connect コネクト ふちゅう

発行：社会福祉法人 府中市社会福祉協議会

2022
August
Vol. **02**
Take Free

私たちは「地域なんでも相談員」です

“住民同士の支えあい活動”の一つとして、「地域なんでも相談員」が、皆さんの身近な地域で活動しています。今号では、「地域なんでも相談員」とはどんな役割なのか、どんな方が活動しているのか、実際に活動している方の声などをご紹介します。

対談・インタビューはこちら



対談

地域なんでも相談員の活動とは？



「活動」を通して生まれた、信頼し合える関係。「相談員」から「なんでも話してもよいくらい、信頼できる人」に。

司会：早速ですが、高橋さんはどのようなきっかけで「相談員」になられたのでしょうか？

高橋さん（以下 高橋）：退職後、地域に貢献できるような活動はないかと考えていました。そんな時、広報紙で「地域なんでも相談員」の養成研修を知りました。

司会：現在はどのような活動をしているのでしょうか？

高橋：私が担当しているのは「白糸台文化センター圏域」です。地域の見守り活動を中心に行っています。活動は週に1回程度です。時々、「困りごと相談会」にも参加しています。

司会：地域でそのような「見守り活動」を行うなかで、細川さんと出会ったのですね。お2人はどのように出会ったのでしょうか？

高橋：相談員研修を受けた後、地域でポスティングをしている時、偶然、細川さんの家の扉が開いたんです。ポスティングをしていると「勝手に入れないでほしい」と怒る方も多いんですが、細川さんは違いました。私に声をかけてくれたんです。その後は、お互い犬や猫を飼っていたこともあり、関係性ができてきました。

司会：細川さんは高橋さんに会ったとき、どんな気持ちだったのでしょうか？

細川さん（以下 細川）：正直に言えば「普通のひととは違うな」と感じたね。少し「恐そう」というか。



白糸台文化センター圏域
高橋 博さん

地域なんでも相談員活動歴/約3年



細川 昌利さん

でも、話をしていくうちに「信頼できる人」だって分かってきたから。今では何を言ってもよいと思うくらい、信頼しているよ。

司会：その後、どのような支援があったのでしょうか？

高橋：地域福祉コーディネーターにつなぐために「*困りごと相談会」に一緒に行きました。その後、地域福祉コーディネーターによる書類整理の支援につながりました。細川さんはおひとりで暮らしているので、やはり色々聞いてみると、困っていることもあるようで。定期的に私が訪問をしながら、困りごとをお聴きし、必要があれば地域福祉コーディネーターさんに繋げています。

*困りごと相談会…4ページ参照

司会：高橋さんと出会って、細川さんの生活は変化しましたか？

細川：私は「人に助けられている」と思うよ。高橋さんとの出会いも、まさにそのひとつだね。今までは生活していて不安があったけど、高橋さんと出会ってそれが少なくなったと思う。本当に「大好き」だと言いたいくらいだよ（笑）。

高橋：私から見ても、細川さんは笑顔が多くなったと感じます。それが、私はとても嬉しいです。最近では、自分から地域福祉コーディネーターや市役所等へ相談できるようになっていると聞いています。相談員はあくまでも「つなぎ役」で、支援を抱え込まないことも大事だと思っています。

司会：本日はお忙しい中、お話を聴かせていただき、ありがとうございました！

Interview



地域なんでも相談員として活動中

住吉文化センター圏域
木村 ミチ子さん

地域なんでも相談員活動歴/約6年

「地域に役立つことがしたい」
はじめの一步は、その気持ちだけでした。

Q.「地域なんでも相談員」になったきっかけは？

A.地域で生活をするなかで「一人暮らしの高齢者」や「子育てに悩みを抱えるご家庭」など困っている人がいるなど感じていました。そんな時に、「地域なんでも相談員」の養成研修があると知り、応募をしました。「地域の人が気軽に困りごとを話せるように聴いてあげられたら」。その気持ちが最初のきっかけだったと思います。

Q.具体的にはどのような活動をしているのですか？

A.ひとつは「地域の見守り活動」です。私は「住吉文化センター圏域」を担当し、定期的に地域内を歩いて回っています。私は相談員になる前から健康のために散歩をしていましたので、特に負担に感じることはありませんでした。「*地域なんでも相談員連絡会」で配付された、「まち歩きシート」が地域の見守り活動にとっても役立っています。日々の生活の中でのちょっとした気づきや、心配ごと気づくヒントが書いてあります。もうひとつは「困りごと相談会」への参加です。この会には地域福祉コーディネーターさんなど、支援のプロの方もいますので、相談に来た方の話を聴いて必要な関係機関へとつないでいます。

*地域なんでも相談員連絡会…3ページ参照

Q.「地域なんでも相談員」に興味がある人へのメッセージ

A.「相談員」と聞くと、自分は相談なんて受けられない、と思う人もいるかもしれませんが。私もはじめはそう思っていました。けれど、約6年間活動をしてみて、相談員の一番大事な役割は「困っている人の話を聴くこと」だと感じるようになりました。専門的な支援が必要な人には、地域福祉コーディネーターさんがサポートをしてくれます。相談員の役割は「話を聴くこと」と「地域福祉コーディネーターに情報をつなぐこと」です。少しでも人の役に立ちたいという気持ちさえあれば、誰でもなることができるのではないのでしょうか。



地域なんでも相談員誕生の経緯

「地域の課題発見と共有のためのアンテナ役の育成」

府中市社会福祉協議会の「第3次地域福祉活動計画(平成27年度～令和2年度)」では、「地域で支えあうまちづくり」を目指し、「地域の困りごとに気づき、みんなで考える」という取り組み目標を立てました。

その中で、地域の皆さんが抱える課題を発見し、つなぐ役割が必要と考え、平成28年度から地域なんでも相談員の育成を開始しました。令和4年4月現在、134名の相談員が登録し、活動しています。

地域の困りごと
発見のアンテナ役



地域なんでも相談員



困りごとを抱えている人

地域の皆さんが抱えている課題を発見。
早期に必要な支援につなげることで課題解決が速やかになる。



相談員の役割

気づく

つなげる

見守る

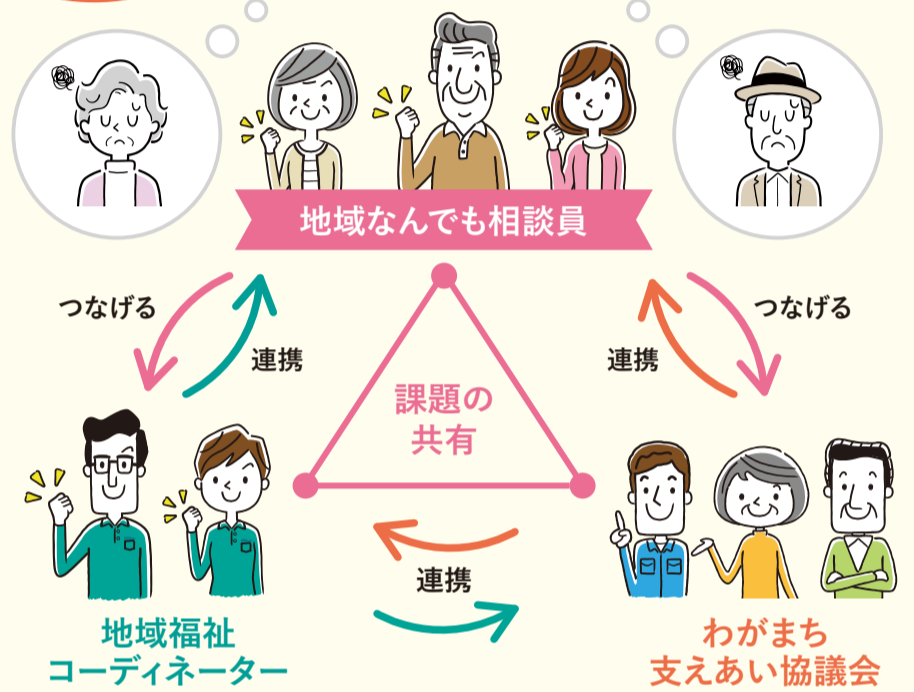
近所に心配な人がいます。

地域なんでも相談員は、地域のちょっと気になること・心配事を、*地域福祉コーディネーターや*わがまち支えあい協議会へつなぎ、課題を共有し、解決に向けて一緒に考えていく役割です。

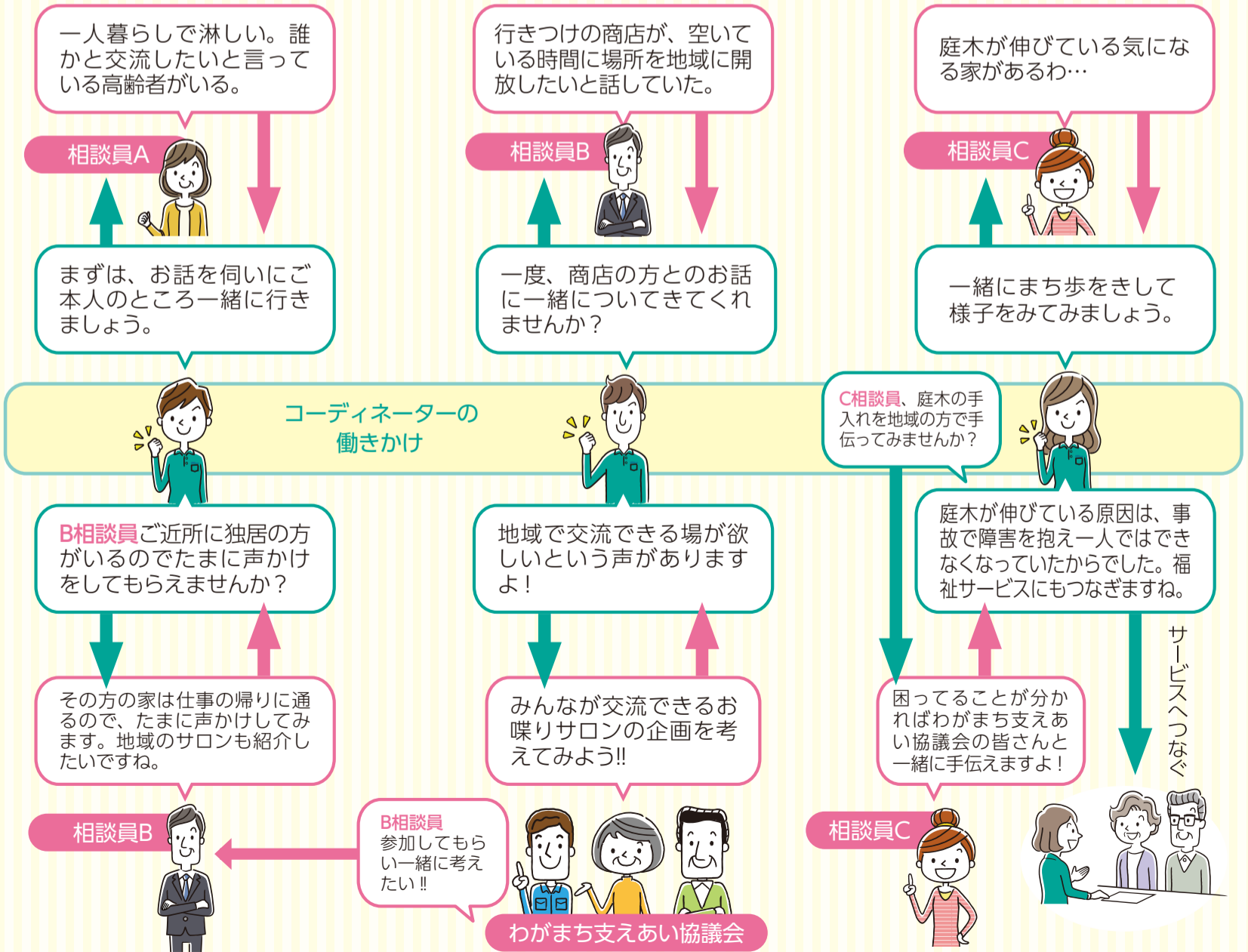
また、地域で孤立しがちな方を対象に、生活状況の変化などによる生活課題を早期に発見し、円滑な支援につながるよう、定期的に訪問し、見守り・声掛けをする役割も担っています。

*地域福祉コーディネーター：一人ひとりの困りごとに寄り添い、解決に向けて支援する役割、また、解決に向けた仕組みづくりを地域住民と一緒に進める役割として、府中市社会福祉協議会に配置されています。

*わがまち支えあい協議会：地域の困りごとを発見し、共有し、住民同士の助け合いで解決していくしくみとして、文化センター圏域ごと、計11団体が設立されています。



地域なんでも相談員からつながった相談の例



「地域なんでも相談員」育成プログラム

養成講座で学び
相談員になりました!



地域なんでも相談員

地域なんでも相談員として活動するためには、年1回開催している「地域なんでも相談員養成研修」を受講していただき、相談員として府中市社会福祉協議会に登録していただいています。

研修は全4日間のプログラムになっており、座学やグループワーク、地域活動への体験参加等を通して相談員として地域で活動するスキルを学びます。

研修の内容		学びのポイント!
1	地域なんでも相談員の役割 相談員としての気づきのポイント	<ul style="list-style-type: none"> 地域なんでも相談員の役割説明や、課題解決先として一緒に取り組む「わがまち支えあい協議会」について学びます。 「地域の気になること・心配事」に気づくために、まずは「どんな地域課題があるのか」「どんなところに“心配ごと”のサインが隠れているのか」を、知っていただくためのワークを行います。
2	傾聴講座 (講師：日本産業カウンセラー協会) ※令和2年度～研修プログラムに導入	<ul style="list-style-type: none"> 活動で関わる地域の方や困りごとを抱えた方の話を聴くために、必要な技術や、話しの聴き方のポイントを学びます。
3	一人の困りごとから、 地域での支えあいを考える	<ul style="list-style-type: none"> 地域の中で発掘した困りごとを、どのように解決につなげていくか、困りごとを抱えた住民の事例を題材にワークを行い、様々な視点からの「支えあい」を考えます。
4	地域の 「わがまち支えあい協議会」への参加	<ul style="list-style-type: none"> 困りごと解決のための「わがまち支えあい協議会」の話し合いの場や困りごとがきっかけで始まった様々な活動に実際に参加し、「困りごと」から「解決」に向けた動きを体感していただきます。
5	地域なんでも相談員登録説明 地域福祉コーディネーターへの つなげ方、報告の方法 ※①～④を受講した方のみ	<ul style="list-style-type: none"> 活動するうえでの基本的な考え方や注意点、個人情報保護について学びます(要網の確認や、個人情報保護の署名などもしていただきます)。 何気ない世間話から相談内容をまとめ、地域福祉コーディネーターにつなぐ流れを、ワークを通して練習します。

全プログラムを受講し、登録した方へは登録証を交付します。

※毎年継続確認調査を行い、活動の継続について意向調査を行っています

◀赤いストラップの登録証

スキルアップ・情報交換の機会



▲地域なんでも相談員連絡会の様子

市内で活動する相談員の交流、情報交換、学びの場として「地域なんでも相談員連絡会」を年数回開催しています。相談事例や課題の共有、福祉の制度や障害・認知症などの勉強会、懇談などを行い、相談員のスキルアップと相談員同士のつながりづくりの機会になっています。

令和4年度
地域なんでも相談員養成研修
受講者募集中!
詳細は4ページを
ご覧ください。



お待ちしております。



令和4年度

地域なんでも相談員養成研修 受講者募集中!

9月～開始



研修を受けて
相談員に
なりたいです!



日時	内容
9月3日(土) 10:00~15:00 ※昼休憩含む	①地域なんでも相談員の役割 相談員としての気づきのポイント他 ②傾聴講座(講師:日本産業カウンセラー協会) ※日本産業カウンセラー協会は、働く人々を支援する団体です。 カウンセリングの基礎である「傾聴」について、働く人々だけでなく 地域で活動する皆さんに向けても講座を開いています。
9月10日(土) 10:00~12:00	③一人の困りごとから、地域での支えあいを考える
9月~10月 (日程は研修初日に調整)	④地域の「わがまち支えあい協議会」への参加
10月22日(土) 10:00~12:00	⑤地域なんでも相談員登録説明 ※①~④を受講した方のみ

- 場 所 府中市役所府中駅北第2庁舎3階会議室(府中市寿町1丁目5番地)
- 対 象 ボランティア活動や地域活動をされている方、またはこれから活動をしたいとお考えの方
- 定 員 先着40名 ※事前申込み制 8月1日~受付しています。
- 申込み 二次元バーコードの申込みフォームからお願いします。
社会福祉協議会へお電話でご連絡いただくかFAX・メールでも受付しています。

地域なんでも相談員養成研修
参加申込みフォーム ▶▶▶



電話・FAX・メールでのお申込みは下記から

TEL: 042-364-5382 FAX: 042-362-9090

メール: fuwari@fsyakyo.or.jp

※FAX・メールの際は、研修名、氏名、住所、連絡先をご記載ください。

気になること
何でも相談ください。



暮らしの **無料・予約不要・毎週開催** 困りごと相談会

不安だな...
誰かに話を聞いて
もらいたいな...



これってなに
相談したらいいの??

府中市地域福祉コーディネーターがお話をお聴きし、
解決に向けて一緒に考えます。お気軽にお立ち寄りください。

開催会場: 近くの文化センターにお越しください。

開催時間	月	火	水	木	金
9:15 ~ 11:45	中央 文化センター			片町 文化センター ----- 西府 文化センター	住吉 文化センター
13:30 ~ 16:00	紅葉丘 文化センター	武蔵台 文化センター ----- 是政 文化センター	白糸台 文化センター	押立 文化センター ----- 四谷 文化センター	

開催時間	月・水・木
9:30 ~ 16:00	新町 文化センター

※祝日はお休みです ※その他変更になる場合があります ※訪問による相談や、ふれあい会館での相談もお受けします。お気軽にお問合せください。

例えば...こんなご相談がありました

- 気になることがあるけれど、どこに相談したらいいかわからない
- 庭木が伸びてうっそうとしている家があり心配
- 歳をとり、この先の生活に不安がある
- 時間ができたので、ボランティア活動をしたい

お問合せ

社会福祉法人 府中市社会福祉協議会
地域活動推進課 まちづくり推進係

TEL: 042-364-5382
FAX: 042-362-9090
メール: fuwari@fsyakyo.or.jp

<http://www.fsyakyo.or.jp/>
受付時間: 月~土曜日(祝日・臨時休館日を除く)
午前8時30分~午後5時15分

ホームページへ

